

# 一般質問

第4回定例会の主な質問内容は次のとおりです。  
なお質問の詳細は、熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

くまもと未来



白河部 貞志 議員

質問 1

**市長マニフェストの「地域アクティブセンター(仮称)」とは**  
「公設公民館を地域アクティブセンター(仮称)に衣替える。」とあるがその考えは。また「地域主義」具体化への取り組みは。

答弁

地域主義の視点から地域の誰もが利用しやすい自由度の高い地域活動の拠点施設となるよう、公設公民館の在り方を検討する。



質問 2

**郊外部振興による「上質な生活都市くまもと」**  
郊外部の既存集落への対応も含め、地域バランスの取れた発展が図れるような都市づくりについて、基本的な考えは。

答弁

立地適正化計画<sup>(※1)</sup>を推進し、公共交通で日常サービスの享受や、農工商業の振興を図り、地域特性に応じた都市づくりを進める。

自民党



澤田 昌作 議員

質問 1

**幼児教育無償化について**  
現場では担い手不足等多くの諸課題を抱えながら運営がなされているが、幼児教育無償化に向けた今後の対応は。

答弁

更なる人材を確保していくため、民間保育士養成機関と連携のもと、積極的に担い手の確保や質の高い人材の確保を図っていく。



質問 2

**飽託4町合併を振り返って～地域の格差問題**  
行政が地域内の格差にしっかり目を向け予算を投入し地域が成り立つ取り組みを進めるべきだが、今後の対策は。

答弁

それぞれの地域特性を活かしたまちづくりを進めるとともに、農水産業の振興や道路網の整備等にも積極的に取り組んでいく。

市民連合



福永 洋一 議員

質問 1

**買い物・通院等の不便地域の交通網整備**  
都市部の地域でも高齢者を中心に公共交通の利用に不便をきたしている実態がある。地域交通網の整備が必要。

答弁

超高齢社会では、公共交通の充実を含めた交通体系の最適化が必要であり、この中で地域交通網の整備も検討する。

質問 2

**小中学校と地域等の連携による災害対応訓練**  
昨年10月、麻生田や武蔵校区で実施された、地域・家庭・小学校・行政が連携した訓練を、他の校区でも実施すべき。

答弁

各学校では、熊本地震の経験を踏まえ、校区の実情に応じた訓練を実施しており、両校区の事例を校長園長会等で紹介する。



公明党



浜田 大介 議員

質問 1

**水前寺江津湖公園の整備について**  
水ブランド発信とともに、環境に配慮した歩道のライトアップ、カフェやレストラン等、世界に誇れる総合的な整備計画を作るべき。

答弁

地下水が育む文化・農産物・食等、熊本の魅力を効果的に発信する。また、新たな利活用と自然環境保全の両面からの計画策定を進める。



質問 2

**高齢者向けさくらカード制度について**  
現時点でさくらカードの見直しは拙速であり、当面は現状維持とすべきであるが考えが見解を尋ねる。

答弁

高齢者の社会参加促進施策を総合的に検討していく中で、さくらカード制度がこれまで果たしてきた役割や効果を検証していきたい。

市政クラブ



落水 清弘 議員

質問 1

**池田小学校プール・体育館の合築改築はいつ?**  
度々お願いしている、池田小の築57年のプールと築45年の体育館の合築による全面改築は、いったいいつになるのか?

答弁

体育館は、現在、耐力度調査を実施しており、合築し建て替えとなる場合は、最短で2022年度末の完成が見込まれる。

質問 2

**城西小の『アンネの薔薇』等活用の特色教育を!**  
花園小の『赤穂浪士の手水鉢』や、城西小・西山中の『アンネの薔薇』等の教育財産の活用と各学校ホームページへの掲載を!

答弁

学校や地域の特色を活かした教育活動は重要であり、学校のホームページでの情報発信等も含め、引き続き取り組んでいく。



和の会



緒方 夕佳 議員

質問 1

**体罰や不適切指導を繰り返す教員への対応**  
異動や早期退職の促し、懲戒免職や子どもに携わらない職に転じてもらうという対応も必要ではないか。

答弁

教員の処分については、懲戒処分の指針に基づき対応する。異動については、様々な状況を総合的に判断し、適切に対応する。



質問 2

**市民からの声や要望に対する対応方針の統一**  
担当課が受けた要望を記録し課内で共有するとともに全庁的にも把握するという統一した対応方針が必要では。

答弁

要望等については、データベース化し全庁的に情報共有している。今後、利用しやすいシステムについて検討し、職員にも徹底していく。

自民党



小佐井 賢宜 議員

質問 1

**熊本市役所本庁舎整備について**  
整備を基本とした新たな社会資本整備投資は他の事業への影響が懸念されるが、想定外に対する財源確保の術は。

答弁

国・県等の有利な財源や市税収入の増収を活用するとともに、業務の効率化に取り組みること等により、必要な財源を確保する。

質問 2

**植木温泉の区域内規制緩和について**  
優良な資源を有するにも関わらず地域間格差が懸念される。独自の振興策だけでなく開発の規制緩和策も必要。

答弁

植木温泉の価値向上に必要な宿泊または休憩施設等については、開発許可対象施設と捉え、観光振興等に繋がるよう取り組みたい。



## 教えてひごまる

立地適正化計画<sup>(※1)</sup>…人口減少・超高齢社会に備え、都市全体の観点から、居住機能や商業・医療等の都市機能の立地、公共交通の充実等に関する包括的なマスタープラン。



## 予算決算委員会の審査概要

全議員で構成する当委員会にて、平成30年度補正予算及び関連議案について審査を行いました。

締めくり質疑(平成30年12月25日)

### 平成30年度熊本市一般会計補正予算

#### ○債務負担行為補正

・近年、指定管理者制度の導入や複数年にまたがる投資的経費が増加していること、また、熊本地震からの復旧事業等、将来への過度な負担が懸念されることから、債務負担行為設定の際は、費用対効果の検証や経費の妥当性について十分精査してもらいたい。

・市役所駐車場管理業務に関連し、出口付近の混雑が依然改善されないことから、更なる事前精算の促進等に取り組んでもらいたい。

#### ○熊本城ホール整備事業

・開業1年前の時期に、機能強化を理由に7億円もの追加補正が行われたことは、事業計画の熟度が低いことの現われであり、また、追加された事業の必要性や費用対効果の説明が不十分である等、本事業が施設整備ありきで進んできたことに問題があると指摘したい。